

長崎県連 訪問 議事録

開催場所	佐世保商工会議 所	日時：平成27年 9月13日(日) 16:00 ~ 17:15	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 副委員長 中川

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介(日本 YEG・連合会) ③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

伴：本日は宜しくお願ひします。昨年408という事業で仲田直前が周らせて頂きました。思いを繋ぐために今年は県連に訪問させて頂いています。普通に話すように出来ればいいと思っていますので懇談をしたいなと思っています。190人出向者がいます。出向記念品を配らせてもらっています。ブロック大会が先週あった伊賀の工芸品になります。伊賀のメンバーに頼んで作ってもらいました。45道府県連の代表理事にも。出向していない方にもという事で吉野県連会長の分も作っています。全てのメンバーが日本 YEG なので代表理事と同じものを作らせて頂きました。色んなお伺いをしていきたいなと思います。一通り各単会さんの事業について聞きたい。メインの事業。今年は例会をこうしたなど。色んな団体と行政と親会とやっているなど聞かせてほしい。JCと、商工会、漁協、商店会、JA青年部など。

長崎：レインボーでございます。日本の皆様長崎にお越し頂きありがとうございます。180名。本年度200人目標。年度内にできれば。親会主催の青年部主管長崎みなとまつり。花火を2日間上げている。水辺の公園でイベントを開催。毎年30万人弱くる。今年は台風の影響で1日開催。みなとまつりは今後も青年部が主幹として続いていくまつり。2012年に世界三大新三大夜景。香港、モナコ、長崎が登録された。資源を活かすために2013年に葉加瀬太郎を呼んで長崎屋曲を作ってもらった。青年部が中心になった長崎夜曲プランを作った。総額600万規模。47都道府県で演奏してもらった。本人からも長崎をPRしてもらった。2014年に国体があった。いなす山に電波塔があるがライティングをして新たなシンボルを作ろうという事で国体に来た90万人人位歓迎を込めてやった。非常に好評で長崎市の予算から5000万の予算をもらった。常設するために。新たな観光資源を磨く。我々で出来る事を模索しながら作り上げていこうという活動をしている。被ばく70年という事で長崎から世界に平和の思いを発信しようと福山正春が出したくすのきという曲がある。生えないと思われた葉っぱが2か月後に生えてきた。協力を得て、市民1500人で歌い繋ごうというイベントを企画した。8月9日の記念式典にも大使に配った。色んな所で再生されている。YouTubeでも3万回再生されている。同時にいなすやまで福山が講演をしたが、コンサートに合わせたイベントを企画している。青年協会がある。そことコラボしてイベントをした。たくさんの方がきた。長崎としては会員同士の交流ももちろんだが、同時に県外からくるお客様に喜んでもらえるか、PR出来るというか行動をしていきたいと思ひます。

諫早：総会で配られたと思うが全 YEG の中で年間費が一番安いのでは。1万2千円。卒業は40歳。短期で一生懸命やろうと。対外活動をやっていない。自己研さん。テーマを決めて勉強をしている。今後は諫早の市民と交流をしないといけないのかなと。JCさん？と言われ悔しい思ひもしている。対外活動が課題。

福江：36名：人口は3万7千人。人口も1000人なくなったりで減っている。高校生も400人位出て

行ってしまう。生まれるのは200人前後。島で同商売をするのか。課題。諫早と同じで自己研さんの例会がメイン。子供と川掃除。お仕事体験などを行っている。長崎のようにイベントも今後取り組んでいきたい。現状いけない。

松浦：15名。県内最小。会員の年齢をあげようかとあったが会の中で話し合った結果45歳のままやっている。卒業したら会議所で活躍しようと。まずは基本に戻ろうと。何を目的にしているのかになるので自己研さん。9月10月に世界のガーデニングやハウステンボスのガーデニングで賞を取った方の後援がある。彼だけでも得られるものをやりなさいという事でやっている。他のグループとの交流というと行政や農協と6年目だが婚活イベントをしている。私も今年結婚。そういう会を立ち上げた。今まで6組。会長も順番で回す。役所の人も。YEGはしぼりがあるがまずは型を持とうと。持っただけから型にこだわらないようにしようと。ブラッシュアップしていきたいです。

大村：50名。派閥などはない。例会出席率が100%通常でも90%でやっている。大村市は人口が少しづつだが増えている。今年度は地域貢献に行きたかったが商売繁盛を掲げている。これからなくなる仕事、増える仕事が出てくる。会員に出せるように資料を作りたい。現在の商売繁盛という事で会員が何をしているのか分からないところもあるので今を見つめて未来を見ていきたい。水と花と緑のまちを作ろうと花に関わる事業をしよう。長崎空港も40周年。

平戸：夏祭り。売店の出店。女性の腕相撲。まちこん。50体50。平戸の居酒屋で。職場対抗のど自慢大会。スナックで代表を決めてから決勝大会を開催しています。

島原：50名前後。10月にしらぬい祭りがあり、その企画。JCや他団体と協力をしながらやっている。4月8日に市議、商店会、などをまぜたディスカッション。4万人のまち。親類先輩同級生のまち。誰かがしている状態。交流は計りやすい。会津若松でのジュニエコ。これをメインとしてやっていきたい。諫早と同じでJCさん？と言われる。YEGはこういう活動をしていると知ってもらうため。次の世代の子供を育てるため。ロータリーとも一緒にやっている。子供のためのプログラムではあるが、親御さんにも認知してもらえ。会員の増強にもなる。

佐世保：95名。毎年増えている。100名を目標にしている。全国大会の誘致をしていた。会の内部に向けては少なかった。今年度は会員同士の交流を増やすための委員会を設置した。8月佐世保シーサイドフェスティバルを開催して実行委員会を作り、JCと人間を出し合って運営をしていくとなった。今回は27万人の参加者があった。9月の会員大会。全国大会に向かっていく気持ちがここに注がれています。11月に産業展が企画されています。110ブースの企業を誘致したい。

伴：各単会さんのお話しありがとうございます。他団体でJCさんとは

5

伴：中央会

0

商工会

4

法人会

3

伴：その他にありますか？

長崎：青年協会というのがある。JCからの派閥から出来た団体だと聞いている。50年以上も前から。

伴：JC、商工会、中央会とはトップ会談という事で年4回会合を持っています。5月8月12月金沢で開催です。年明けに中央会。どんな団体なのかお互いに理解することから。協力出来る体制を作りましょうよと。電話一本で出来るような。特製、特徴を。各単会、県連さんで交流を持っていただきたい。県連は？

吉野：全くない。

伴：栃木は35年前からある。同じ世代で同じ地域で生きている。会が違えど協力すれば地域にも商売にも良いはず。日本も全国の団体も一緒にやろうよとなっている。私もJCやっていました。JCは栃木のブロ長もやった。良いものは良い。でやっていけばいいのでは。各地でもお願いしたい。親会の話もあった。仲がが悪い所は？全国ではある。口も利かないところ。今までは会頭がYEGの歴代だった。変わった瞬間から事務局まで口を利かなくなったこともある。状況を聞かせてほしい。全国のYEGの活動など理解を頂きたい。広報誌の石垣親会のページを持っている。全国の良い事業を出していきたい。来週東京で日商の会員大会がある。各会頭、副会頭もいらっしゃるがそこでもPR、発信をしていきたい。オープニングでは全国大会のPVを流している。総理や政党の代表が挨拶をする。公安から身元調査が入った。総理が近くに居るから。三村会頭からもどんどんやりなさいと言われて居る。全国の会頭にも発信していきたい。県連会長、代表理事を通して伝えてほしい。すぐに行きます。力になれば。声を頂きたい。

市町村、行政とはどうですか？1商工会議所5商工会なんてある。倉敷は1市に3商工会議所。行政は公平性を求めるので偏れない。少しずつ変えていきたい。情報も旧友していきたい。一緒にやるならばおろしますよという地域もある。商工会の会長と榎原の方だが、話をしている。来週東北ブロックで大会がある。復興フォーラム。4団体に声がけをして何かしましょうと。東北の各団体に声がけをしたがJCだけ出さないと。会長に話したら1週間後に出ると。二の足を踏んでしまったり地域の問題があったりする。各団体の全国のトップがいますので何かあれば言ってください。波及効果があるようなことをしていきたい。日本も色々な事業をしている。ビジネス、交流風会議。色々なご意見もあると思います。ブロック大会、全国、会長研修会などあれば。こうしたら行きやすいなど。

松浦：長崎はビジネスプランコンテストを2年連続で優勝したが、その後どうなっているのか知らない。全国でどう知っているのか。プランだけよかった根なのか。その後儲かっているのか。11月11日にYEGの日とやりにくい。

伴：ここ数年意見をもらっている。実現可能で儲かっているのか知りたくて。発表できる形を取りたい。追跡も出来ていない。ネットで開示すればいいだけの話なので公表できるようにしたい。研修という部分も多かった。実現というよりは、この数年は実現可能かどうかが見られている。今年は賞金という形で大賞を取ったところに手助けをしたいと考えています。昨年審査員をした。銀行の経験者などきてもらってこれは面白いねという話はあった。これはどうなのというものもあった。今頂いた意見を見せる形を取りたい。担当委員会にも話をしていきたい。YEGの日ですが、会長研修会も近いので第一回をやった日という事で2年前にやっってくださいと言っていますが、その前後でも結構です。目標にしてもらって前後にしてもらえると。それを出してもらって講評をして全国でこんな事業がありますという形にしたい。ひとつの記念日として捉えてほしい。YEG大賞の復活の話も出ている。事業を出すことによってくることもある。いい事業はいい。ジュニエコなんてそう。会津若松はどうぞどうぞと言ってくれている。どんどんパクッテいいのです。代表理事からも他の単会の話も聞いて伝えてほしい。色んなルートがあると覆います。窓口になる人がいなければ代表理事、県連会長。私でも構いません。京都大会の実行委員長もいますので文句でもあれば。お礼も兼ねて。

田沢：京都に昨年お越し頂きありがとうございました。6250名集まった。大会の中にはご迷惑をかける事もあった。全国の皆様と交流が出来た。満足いただけた部分もあるのかなど。岡山に引き継いで初めて成功かなど。大会会長が来年の会長になります。京都府連でも応援していますので今後とも宜しくお願いします。ありがとうございました。

伴：良いことも悪いことも指摘してもらって次に活かさなければいけません。委員会の委員長は大会会長も単会会長もやっている。その為にもこういうのが全国に欲しいんだよという意見を聞きたい。どこの県連さんもお酒が入ると意見がどんどん出てくる。

大村 YEGさんの例会出席率の話があったが。現状の単会の力かと思います。全国の平均は50%くらいだと。20%くらいの単会もいた。自分たちが当たり前と聞いていても。県連くらいしかない。

長崎：出席率が下がって来た。今年度は意識しているよと話しているが苦戦している。~70%くらいまで。中々実現できていない。

島原：役員が80%フロアが20~30それで50%くらい。今まで出ていない人も出てきてねと伝えている。例会だけは空けておけと新入会員には伝えている。事業主よりも従業員の方が参加率高かったりする。

伴：千葉の柏は例会の出席率が90%を超えている。他に行ってみて低いのにびっくりしたと。10委員会ある。100人の組織で。10人位なら声かけられる。例会の出席が高い所はそういう所がある。

大村：1委員会6~7人。各委員会全部に挨拶に行ってくださいと回った。50人だが。みんな一緒にやろうと。柏がびっくりしているのでは。全国の1位が自分でないと。

メンバーの増減ですが、今は増えている傾向にあります。長崎では減っている所は

松浦：10年前は30人いた。現在のOBはJC終わってYEGという流れだった。出向もするべきだと。その時に入った僕らはYEGに入ったので若い人を入れづらい。やりたいことがあってもやりづら

い。回答、常議員の皆様をお願いに周ったりしている。始めた。結果がついてくればうれしいがそればかりやっていると目的が違うのは気を付けている。

伴：JCが今減っている。入れる事に必死になっている。茶髪の兄ちゃんがJCでやっていると。茶髪が悪いわけではありませんが。案内もろくな案内が来なかったりする。入れる事が目的ではなく、同じ志を持った仲間が必要。商工会議所とはなんだとなったとき。会長研修会の時。イントラネットで取れます。YEGマニュアルというのがあります。知らない会長が多い。使ってもらってメンバーに渡してもらいたい。そういうのも大事。機会があればまずは県連からでも出てきてほしい。ブロックその後でも日本。全国大会で若いメンバーを紹介してもらえれば。それが私の仕事だったりする。多く入れるのではなく、仲間。数は大事だが。

長崎：サッカー鹿児島大会参加しましたが、日本の事業ではないと聞きました。

伴：昔は共催という時期もあったが、今は後援となっている。

長崎：今後は？

伴：基本的には変わらないと。監事単会がいる。参加する単会との話し合いで決めているので基本的には変わらない。

長崎：去年大会を知ってチームを作った。結束力ができた。来年はどこだと。山形の長いとなった。目標が無いと続けていけないよねと。九州大会や発展性があると非常にうれしいなと思います。如何でしょうか？

伴：監事YEGには伝えていきます。九州ブロックでもやってもいいのでは。

大山：九州で大会が開催されたのでそういう話が来ている。小さくてもいいのでと。今年度出来るか分からないが次年度に引き継いでいきたい。サッカー大会楽しかった。結束力高まりますよね。是非広げていきたい。

伴：宇都宮の月曜の練習には言っている。宇都宮のチームに例会にも行こうよと話を掛け合っている。単会の中で結束を高めるツールにしてもらえれば。後援でも事業でも行かせますので。プロ代が来年やるのでは。

松浦：災害時の連絡網は機能しているのか。

伴：災害対策関連文書というのがある。対応表。各単会のメンバーを東西中で割り振っている。新発田の会長研修会での席で配置した。そこまででしか出来ていないのが現状。災害ができた時の票というよりは長いスパンでの交流、協力が大事というコンセプト。何かあった時に支援が出来るのかは難しい。機能していないというのは五平があるが。今回の栃木での件も確認をしました。県連会長から理事から報告をもらっています。今は各単会がバラバラに行ってしまう。拠点を決めて支援をするのがまとめだと思う。これから早急にしなければいけない。この表は長いレンジでやりたい。仙台、富山のグループはこの数年100名規模の交流をしている。そういったきっかけにってもらえると。速

報の支援とは別に考えていかなければ。必ず来るものだと思っていますので。総務委員会中心に話をしている。いつも持ち歩いているが。

この後の懇親会で飲みながらでも構いません。平戸に明日城を見に行きます。色んな意見をまた下さい。日本で最初に日が上がる根室に行ったばかり。逆も行きたい。こういう機会を得られたと思いますので。今度の会長研修会でも全国大会でも。全国の会長が集まります。色んな話をしたい。第一分科会は予定者。一緒にいたのが佐世保の野田さんだった。貴重な機会にしたい。表はメンバー数だが。人口比率は全然違う。そこに何かヒントになるような事があれば。会長同士の話ができれば。短い時間になりますが。次年度を連れて、熱意のある会員を連れて。単会の会長をやっている人もいます。良かったと思う気持ちを次の訪問に活かしていきたい。酒を飲んで懇親会でもお願いします。